



平成27年度鉱業博物館特別展

菅江真澄

が歩いた阿仁鉱山



とき
阿仁の名所が生まれた瞬間

鉱業博物館で開催します

期間：平成28年3月3日（木）～4月17日（日）

会場：鉱業博物館 特別展示室

阿仁郷土文化保存伝承館で平成28年2月14日（日）まで開催されていた、平成27年度阿仁伝承館・秋田大学連携展「菅江真澄が歩いた阿仁鉱山—阿仁の名所が生まれた瞬間（とき）—」が、会場を鉱業博物館に移し、平成28年3月3日（木）から4月17日（日）まで特別展として開催されることになりました。

この特別展は、江戸時代後期に阿仁を旅した菅江真澄の絵日記をもとに、阿仁鉱山の文化と名所を探索し、その今昔を

明らかにするものです。阿仁鉱山における真澄の足跡を辿るだけでなく、真澄が絵と和歌で後世に伝えようとした当時の阿仁の名所を、現在の写真とともに鑑賞することができます。

阿仁郷土文化保存伝承館で開催された際には、多くの来館者が訪れ、たいへん好評でした。秋田市やその近郊のみならず、この機会に、ぜひ真澄が触れた阿仁の文化を見にお出でください。

今井忠男教授による

ギャラリートーク

日時：平成28年3月3日（木）

13時30分から

会場：鉱業博物館 特別展示室

※聴講無料

どなた様でも聴講できます。
予約は不要です。
ぜひご参加ください。

山本作兵衛炭鉱記録画

常設展示が始まりました

博物館展示棟3階に、山本作兵衛炭鉱記録画を展示する専用スペースが完成し、平成28年1月29日（金）から常設展示が始まりました。専用スペースの改修工事は昨年11月から行われ、これまで資料展示の準備を進めてまいりました。

展示されているのは、炭鉱記録画の複製2枚と、4枚の説明パネルです。炭鉱記録画は、平成26年12月に作兵衛氏と交流のあった、故 角銅立身氏（秋田鉱山専門学校卒業）のご家族から秋田大学に寄贈していただいた直筆の原画を、精密に複製したものです。作兵衛氏が描いた炭鉱記録画は、明治中期から昭和戦中期にかけての炭鉱内外の様子を、正確、かつ緻密に記録しており、当時の炭鉱労働や生活、それを取り巻く社会情勢を知る上で大変貴重な資料です。

鉱業博物館では、平成27年4月から6月にかけて、企画展「山本作兵衛と筑豊の炭鉱—ユネスコ世界記憶遺産が語る近代炭鉱の光と影—」を催しましたが、常設展示として公開することで、より多くの方にご覧いただきたいと思っております。



展示スペース入口



展示スペース内

山本作兵衛氏について

山本作兵衛氏は、1892年（明治25年）に現・福岡県飯塚市に生まれ、7歳から炭鉱の仕事を手伝うようになりました。

1906年（明治39年）に山内坑の炭鉱員となり、それから約50年間、筑豊各地の炭鉱で炭鉱員として働いていました。

退職後、筑豊の炭鉱の記憶を後世に伝えようと、炭鉱記録画を描くようになりました。

1984年（昭和59年）、作兵衛氏は92歳で亡くなりましたが、2011年（平成23年）に、田川市が所有する絵画585点を中心に、日記や原稿、雑記帳を含めた697点がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

平成27年度鉱業博物館特別展を開催しております

高松伏石鉱物館コレクション

平成28年1月22日(金)から2月28日(日)まで、博物館2階特別展示室で、「高松伏石鉱物館コレクション」を開催しています。この特別展では、高松伏石鉱物館長であった植松 保氏のご遺族から、

平成26年度に鉱業博物館へ寄贈していただいた世界各国の鉱物250点以上を展示しています。

開催初日の1月22日(金)には、コレクションを寄贈していただいた植松道治さんをお招きして、感謝状をお渡ししました。植松さんからは、秋田大学に鉱物を寄贈された経緯についてのお話があり、開館当時の高松伏石鉱物館の映像が上映されました。その後、千田学芸員から実物を見ながらの説明会が行われました。

貴重な鉱物標本が間近で見られ、また、新聞やテレビなどの報道機関にも取り上げられたこともあり大変多くの方が訪れ



大場副館長から寄贈者の植松さん(右)へ感謝状をお渡ししました



特別展示室での説明会



ています。開催期間が残りわずかとなりましたが、この機会に博物館へぜひお越しください。

平成27年度 第4回市民向け開放講座

チリの経済鉱床概観 が開催されました

平成28年2月2日(火)、第4回鉱業博物館市民向け開放講座が開催されました。今回の講座は、「チリの経済鉱床概観」と題し、講師にチリ国北カトリカ大学教授で、金属鉱床学の研究者である小島 晶二先生をお招きして行われました。

講座では、銅の生産量が世界第1位である南米チリの銅鉱床の時間的分布と空間的分布がどうなっているかについてのお話がありました。世界的に観ると、銅の7割は斑岩銅鉱床という鉱床からの産出で、この鉱床は太平洋沿岸に多いため、チリの他、ペルーやアメリカといった太平洋沿岸の国の生産量が多い、という説明がありました。

講座には、30名を超える方が参加し、質疑応答も活発に交わされ、活気あふれる講座となりました。



小島 晶二先生



質疑応答の様子



多くの方が聴講しました

鉱業博物館 サイエンスボランティア

鉱業博物館サイエンスボランティアの活動は、20年におよび、博物館の展示案内や団体見学の誘導、イベントの補助など、博物館の運営を幅広くサポートしています。



秋田県はつらつシニア応援企業・団体表彰

鉱業博物館サイエンスボランティアが表彰されました！



表彰状の授与



博物館の活動発表

平成28年2月5日(金)ホテルメトロポリタン秋田で、秋田県が主催する「秋田県はつらつシニア応援企業・団体表彰」が行われ、鉱業博物館サイエンスボランティア(以下、SV)が表彰されました。この表彰は、高齢者が、知識と経験を活かして様々な分野で活躍している企業や団体を表彰するものです。SVの皆さんの様々な活動が評価され、ボランティア組織としては初めて表彰を受けました。表彰状が授与された後、鉱業博物館の紹介と、SVの活動に関するプレゼンテーションが行われました。